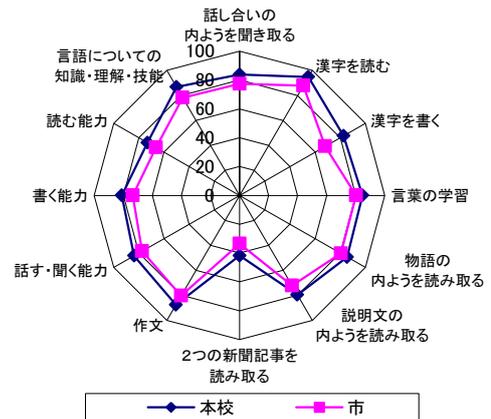


宇都宮市立今泉小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | |
|--------|-----------------|------|------|
| | | 本校 | 市 |
| 問題の内容別 | 話し合いの内ようを聞き取る | 83.8 | 77.4 |
| | 漢字を読む | 94.7 | 87.9 |
| | 漢字を書く | 82.7 | 68.1 |
| | 言葉の学習 | 84.5 | 80.2 |
| | 物語の内ようを読み取る | 85.5 | 80.6 |
| | 説明文の内ようを読み取る | 79.6 | 72.3 |
| | 2つの新聞記事を読み取る | 41.8 | 33.5 |
| | 作文 | 87.7 | 80.3 |
| 観点別 | 話す・聞く能力 | 83.8 | 77.4 |
| | 書く能力 | 81.0 | 73.4 |
| | 読む能力 | 73.2 | 66.4 |
| | 言語についての知識・理解・技能 | 86.8 | 78.2 |
| | | | |



★指導の工夫と改善

| 問題の内容 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|---------------|---|---|
| 話し合いの内ようを聞き取る | ・市の平均正答率を6.4ポイント上回っている。話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く問題では正答が高くなるが、司会者の工夫を考えながら話を聞き取る問題や話し手の意見の相違点を聞き取りながら、自分の意見を記述する問題では正答率が低くなる。また、選択式の問題では正答率は高いが、記述式の問題では誤答が多くなっている。 | ・話を聞くときの態度についての指導をするとともに集中して話し手の意見に耳を傾けることも大切な内容であるので、引き続き指導していく。また、話が長くなると要点がぼやけてしまうため、簡単な言葉でメモを取り、後から要点を整理する習慣なども身につけさせる。 |
| 漢字 | ・漢字の読みは94.7%、書きは82.7%となっており、それぞれ市の平均正答率より6.8ポイント、14.6ポイント上回っている。しかし、読みと書きを比較すると書きの方が12ポイント低くなっており、バランスが良いとは言えない。 | ・新出漢字は丁寧に指導するとともに、漢字ドリルなどによる繰り返し練習で定着を図る。また、書きについては個人差が大きいので、苦手な児童でも関心をもてるように身の回りの漢字に興味をもたせたり、漢字の成り立ち関心をもたせたりしていく。 |
| 言葉の学習 | ・言葉の学習としては市の平均よりも4.3ポイント上回っているが、接続語の問題では1ポイント、ことわざの問題では2.2ポイント下回っている。また、漢字を文脈に沿って適切に使う問題では、市の平均よりも20.3ポイント高いが、他の観点と比較するとやや低く、引き続き指導の必要性を感じる。 | ・朝の会などでことわざを発表したり、ことわざの意味調べをしたりするなどして意味を理解できるようにしていく。また、それらの活動を通して言葉に関心をもたせ、語彙が豊かになるよう指導する。また、言葉同様、漢字の意味にも関心をもてるようにし、適切に使う習慣を身につけさせる。 |
| 物語の内ようを読み取る | ・登場人物の様子を読み取る問題では90%近く正答しているが、登場人物の心情を読み取る問題では80%前半にとどまる。具体的に記述されている文章は読み取れるが、行間を読み取ったり、心情にかかわる表現を読み取ったりすることは十分とは言えない。 | ・自分の生活体験と照らし合わせながら登場人物の心情を想像したり、物語の背景を捉えたり、また、心情を表現する言葉を探したりする活動を通して読み取る力を伸ばしていく。 |
| 説明文の内ようを読み取る | ・正答率は79.6%で市の平均正答率より7.3ポイント高いが、80%に届いていない。文と文のつながりを考えて読み取る問題では正答率が90%となっているが、段落のまとまりを捉える問題では、各段落の内容や文章構成を十分捉えているとは言えない。 | ・一文一文を丁寧に読み取ることで、段落の内容を捉えることができるようにしていく。初めから長い文章ではなく、短い文章を繰り返し読み、徐々に長い文章に変えていくことで、段落の内容を読み取る力を伸ばせるよう指導する。 |
| 2つの新聞記事を読み取る | ・正答率は41.8%と市の平均正答率の33.5%を8.3ポイント上回っているが、国語の中では一番低い正答率となっている。二つの文章の共通点を読み取る問題、相違点を読み取る問題ともに市の平均を7～9ポイント程度上回っているが、十分とは言えない。 | ・文章や写真を比較することで記事を書く際の視点の違いに気付かせたり、文章表現の違いによって受け取り方が変わることなどを指導していく。また、日ごろから新聞に親しむ機会をもてるように助言していく。 |
| 作文 | ・正答率は87.7%で市の平均正答率より7.4ポイント高い。指定された長さで文章を書いたり、意見と感想を区別して文章を書くことができる。しかし、二段落構成で文章を書くという視点では、正答率が低い。 | ・学校行事や学年行事などの機会をとらえて、文章を書く機会を増やしていく。その際に、伝えたいことを短い文章に書き出したり、並び替えたり重複を除いたりしながら、段落の構成を考えていくようにする。また、書きだした文章ごとにグループ分けするなどし、段落の構成にも気付かせる。 |